

2008年7月10日
MR/J29rev/08

メディア用原稿
非公式記録



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京都渋谷区神宮前 5-53-70

Tel.: +81-3-5467-1212
Fax: +81-3-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国連大学、東京大学 ジョイント・サステナビリティ学の連携に合意 ＜訂正版＞

内容： 学術交流覚書調印式
調印者： コンラッド・オスターヴァルダール国連大学学長、小宮山 宏 東京大学総長
日時： 2008年7月16日（水） 午前11時30分～午後12時10分
場所： 国連大学本部ビル（渋谷）

- 「サステナビリティ」には、科学および社会経済を含む様々な分野における複雑な問題が含まれている。これまで、気候変動など科学の分野の分類されていた問題は、今日政治的にも緊急を要しており、また、経済開発など社会の分野に分類されていた問題はすべて、「サステナビリティ」に影響を与えている。
- 学術という中立な立場と研究という客観的立場を擁する大学は、持続的社会へ向けての政治的、社会的変化を研究・伝達するには最も適した場である。そこで、G8大学サミットにおける「札幌サステナビリティ宣言」の採択を受け、東京大学が企画運営を統括するサステナビリティ学連携研究機構（IR3S）と国連大学は、ジョイント・サステナビリティ・イニシアティブ（IR3S/UNU-JSI）を立ち上げ、グローバルなサステナビリティに貢献すべく活動を開始する。
- 本合意に加え、国連大学と東京大学は、ジョイント・サステナビリティ・イニシアティブ（IR3S/UNU-JSI）を通じて研究者および学生の交流を促進し、科学教育プログラムの構築に注力し、合同研究のプロジェクトも進める予定である。
- 世界的に広がりを見せているサステナビリティの研究グループは、国連大学のグローバルなネットワークを通じて、更にグローバルな活動を強化させる。また、アフリカをはじめとする開発途上国における問題提起を行う組織を設立することにより、オスターヴァルダール国連大学学長が取り組んでいる「姉妹機関構想」（先進国と開発途上国の両方に研究機関を置くという構想）との連携を可能にする。
- 具体的な活動には、1) 職員、研究者およびスタッフの人材交流、2) 共同研究、3) 共同教育プログラムの実施 4) 共同セミナーおよびシンポジウムの開催、5) 持続可能性科学促進のためのプロジェクトの立ち上げおよび、6) 学術情報および資料を通じての情報交換が含まれる。
- 7月16日の調印式では、国連大学とサステナビリティ学連携研究機構（IR3S）が学術交流の覚書に調印。本共同パートナーシップに正式に着手する。
- 本調印式の参加者は、コンラッド・オスターヴァルダール国連大学学長、小宮山 宏 東京大学総長、武内和彦国連大学副学長兼 IR3S 副機構長、その他関係者。

調印式への参加および取材をご希望される方は、国連大学広報部の谷野（やの）までご連絡ください。
電話：03-5467-1311、Eメール：media@unu.edu

サステナビリティ学とは

サステナビリティは、「環境の世紀」と呼ばれる21世紀の科学技術、経済システムを語る最重要キーワードの一つである。国際社会が抱える喫緊の課題を解決し、地球社会を持続可能なものへと導く地球持続のためのビジョンを構築す

MEDIA ADVISORY

るために、その基礎となる新しい超学的な学術が「サステナビリティ学」(Sustainability Science)である。
<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/>